



発行 日本共産党 春日部市委員会 春日部市粕壁東 6丁目7-12 電話 748-5159 FAX 748-5179

3月定例市議会閉会

「地震被災者救援の強化」 意見書を採択

3月18日、3月定例市議会が閉会しました。市長提出議案38件はすべて可決成立しました。日本共産党市議団は、基準世帯で年間10800円

の大幅値上げになる「介護保険条例の一部改正」や介護施設の人員配置基準を緩和する条例の一部改正、一般会計予算、特別会計予算など11件に反対しました。一般会計予算は、学校給食費無償化、公民館無料化、77歳に1万円の祝い金贈呈などを盛り込んだ予算修正案を提案しました。また、介護保険会計も本人が非課税の低所得者は介護保険料

を据え置く予算修正案を提出しました。

学校給食費無償化 請願全会一致で採択

市民からの請願「学校給食費の無償化を求める請願」は、全会一致で採択されました。「給食調理室にエアコン設置とトイレの洋式化を求める請願」は日本共産党と無所属議員2名の賛成で否決でした。

「裏金」真相究明を 市議会は否決!

日本共産党市議団は、議案提案権を活用して4件の国へ

●請願と党市議団提案の意見書に対する各会派の賛否

	請願		党市議団提出の意見書等					
	小中学校給食費の無償化を	給食調理室にエアコン設置等の改善	地震被災者救援策の抜本的強化を	公共交通の充実	食料自給率向上	金権腐敗一掃	一般会計予算修正	介護保険予算修正
日本共産党 (4)	○	○	○	○	○	○	○	○
自民・無所属の会(8)	○	×	○	×	×	×	×	×
次世代!かすかべ (6)	○	×	○	×	×	×	×	×
公明党 (6)	○	×	○	×	×	×	×	×
立憲民主党 (1)	○	×	○	○	○	○	×	×
日本維新の会 (1)	○	×	○	×	×	×	×	×
無所属 (榛野)	○	×	○	×	×	○	×	×
無所属 (酒谷)	○	○	○	×	○	○	×	×
無所属 (古沢)	○	○	○	×	○	○	×	×
結果	○	×	○	×	×	×	×	×

の意見書と、2件の予算修正動議を提案しました。「能登半島地震の被災者救援策の抜本的強化を求める意見書」は、全会一致で採択され、国に送付されましたが、それ以外は予算修正案、意見

書ともに反対が多数で否決でした。国民の怒りが広がるなか「裏金の真相究明、再発防止を求める意見書」に自民、維新は「パーティー券だけが問題ではない」などと討論し、反対しました。

〈生活相談は日本共産党へ〉

並木としえ TEL737-4576 大野とし子 TEL746-6136 今尾やすのり TEL761-3676 木下みえ子 TEL734-4677

日本共産党市議団ホームページ <https://www.jcp-kasukabe.jp/>



今尾やすのり議員一般質問



内牧に緊急指定避難所整備を 国に保護省庁の設置を提案

3月6日、今尾やすのり議員は、①災害に強い春日部に、について一般質問を行いました。

想定を超える災害に 備蓄品の充実を

1月1日発災の能登半島地震は、想定を超える被害をもたらしました。

現在の、春日部市地域防災計画では、最も大きな地震が茨城県南部地震で最大震度6強、想定避難者数1万7919人、帰宅困難者

1万9848人、倒壊家屋全壊1180棟、半壊4925棟を想定しています。水害時では、利根川の決壊時で市内面積の8割が水没、最大水深は7メートルと広大な湖が出来ることとなります。一方、災害対応の主な備蓄品は現在、左表のようになっています。

備蓄品	数
クラッカー	113,070食
ビスケット	12,600食
水	21,240本
簡易トイレ	155,000回
生理用品	23,076枚
粉ミルク	13,950本
液体ミルク	408缶
毛布	20,133枚
アルミシート	21,935枚
大人用オムツ	5,712枚
子ども用オムツ	13,068枚
間仕切り	900セット
段ボールベット	900セット

内牧地域を 緊急避難場所に

今尾議員は、「想定を超える災害が今回の能登半島地震の最大の教訓で、特に水とトイレの確保が重要です。また、パーテーション(間仕切り)や、段ボールベットを整備して、人権が守られ健康に暮らせる避難所運営を」と求めました。また、あたたかい食事の提供に、キッチンカー事業者などとの協力協定も提案しました。

水害時の緊急避難場所、広域避難場所がありません。利根川決壊と、江戸川決壊が同時に起きた場合、市内で広い高台として残るのは、内牧しかありません。

今尾議員は、要援護者など車で避難せざるを得ない方が市内で避難できる緊急避難場所として、内牧の高台に、災害時にはトレーラーハウスなども置ける避難場所を、県などと協力して整備することを提案しました。

最期に、備蓄品の充実と国が災害時に主導して対応するイタリアの市民保護庁のような省庁の設置を国に求めることを市長に求めました。

岩谷市長は、「今回の教訓を生かし、備蓄品のさらなる充実に努め、国・県と役割分担し市民の安全を守るよう努めます」と答えました。

市立医療センターTel735-1261(土・日・祝の昼間と夜間毎日)内・外小児救急電話相談#7119

3/24(日)内科系 米島内科・眼科(米島234) TEL747-1234 小児科系 ファミリークリニックまの(千間1-59-5) TEL736-5155 外科系 わかば耳鼻咽喉科クリニック(中央1-11-4清興ビル2階) TEL763-0908

3/31(日)内科系 守田内科医院(南2-6-24) TEL048-737-6300 小児科系 グレース家庭医療クリニック(大倉610-10) TEL048-718-0107 外科系 彩都レディースクリニック(大枝366) TEL048-731-1103

